

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年3月26日

平成30年度(2年目)

事業コード	1	事業名	会員実態調査をもとにした経営改善支援と親族内承継並びに事業承継計画作成支援			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
商工会名	二ツ井町商工会	担当者名	榊 英孝	総轄者名	呼子 晃大	施策コード	1	施策名	商工会ならではの事業承継と創業推進推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

平成28年11月に実施した会員事業所実態調査によると、本商工会の会員の平均年齢は64.2歳で、年代別では60代が38.3%と最も多く、後継者不在の会員が68.2%となっている。

2. 事業のねらい

今後高齢化が進み、後継者不在による経営継続の危機に直面する会員が増える予想されることから、「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営状況へ導いていく。また、秋田県事業引継ぎ支援センター所管の秋田県後継者人材バンクへの登録を促がし、世代交代への適切な支援を実施する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

経営改善支援については、会員実態調査から重要性は理解しており、事業者の持続的発展を支えることが商工会において一番大切な業務である。また事業承継支援についても3年後、5年後先を見据えた場合とても大切な支援であり、今から周知や準備をさせないとならないため必要性は高いと言える。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

日頃の経営改善支援においての提案、周知などの啓蒙活動に努めていく。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
事業承継計画の作成を支援する。	・新分野を展開する事業所に対して、金融支援から事業承継の提案をし計画作成。 ・社長引退時期を明確にし社長の妻が担当している経理も専務妻へ引き継ぐこととした。	b

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	事業承継計画の作成					項目						項目					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	4	4				目標						目標					
実績	2	2				実績						実績					
達成率	50%	50%				達成率						達成率					
達成度	c	c				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

後継者不在の会員が7割に迫り経営者の平均年齢も踏まえれば、事業者の持続的発展を支えることが商工会にとって最重要業務である。そのため、日頃の経営改善支援において事業承継計画作成の必要性や事業承継に係る支援施策などを周知しており、具体的な事業承継計画の作成支援に結びついている。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合) c

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事業承継計画の作成支援まで至ったのは2件と目標に達しなかったが、事業承継診断票による聞き取りなど今後の計画書作成支援につながる事業所が控えている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

平成28年度の会員事業所実態調査により後継者の有無等のデータは整備済み。そのうえで、日々の巡回などによりデータを更新し、事業承継支援に活かしている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

平成28年度の会員事業所実態調査の結果を日々の巡回などでデータ更新し、その最新データをもとに事業承継に係る支援施策などを具体的に周知。そして、事業承継診断票による聞き取り、事業承継計画書の作成支援につなげていっている。

3. 課題

平成28年度の会員事業所実態調査の時点より、さらに高齢化が進んでいる。事業承継に係る支援施策だけでなく、「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営状況に導いていくことも必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

アクションプログラムの中では、「地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施」も重点推進施策としている。施策間の連携を図って、より「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営状況に導いていき、事業承継計画の作成数を増やすなどして事業者の持続的発展を支えていく。

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年3月26日

平成30年度(2年目)

事業コード	2	事業名	創業支援を目的とした地域の空き店舗情報データベース化			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
商工会名	二ツ井町商工会	担当者名	榊 英孝	総轄者名	呼子 晃大	施策コード	1	施策名	商工会ならではの事業承継と創業推進推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員減少に歯止めが掛からない中で創業者を増やしていくため、創業者に対する支援策を充実させる必要があった。

2. 事業のねらい

創業支援の一環として、地域の空き店舗情報をデータベース化し、創業希望者のニーズに迅速に対応できる環境を整備する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

二ツ井町で創業を希望する者が、土地や店舗物件等が豊富な旧能代市にて創業をする場合が多々あり、必要な人にタイムリーに情報を提供できる環境を整えることはとても重要である。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

創業者支援にとどまらず、業務拡大、新分野進出する事業者に対しても有効な情報を提供する。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
エリアを町内全域に拡大して、情報収集を行う。	・以前事業承継(引継ぎ)支援をしていた事業所(引継ぎ先が見つからず廃業)に対して、業務拡大のため事務所を探していた事業所と、倉庫として利用可能な物件を探していた事業所をマッチングさせ賃貸借契約が成立した。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	商店街の空き店舗調査					項目						項目					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	13	4				目標						目標					
実績	13	4				実績						実績					
達成率	100%	100%				達成率						達成率					
達成度	a	a				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性	現状の課題に	a(対応している)	b(一部対応している)	c(対応していない)	a
------------------------	--------	-----------	-------------	------------	---

〈評価の理由〉

会員減少に歯止めが掛からない中で、事業所の持続的発展だけでなく、新規創業者に対する支援も重要である。その支援策の一つとしての空き店舗情報だが、これまでは二ツ井地域の情報がきちんと整備されておらず、創業相談があっても旧能代市に流れてしまっていた。本事業により、創業相談者にタイムリーな情報提供ができるようになる。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況	事業内容・評価指標の実績の達成度が	a(すべてa判定の場合)	b(a,c以外の場合)	c(いずれかがc判定の場合)	a
--------------------	-------------------	--------------	-------------	----------------	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

引き続き商店街の空き店舗調査を実施。そのうち、廃業・脱退事業所から貸し出し可能との返事を得るなどの成果もあった。また、調査範囲を広げて商店街以外の空き事務所・倉庫(元会員)を事業拡大希望の会員へ仲介し、賃貸が成立する成果もあった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況	コスト縮減の取組は	a(客観的で効果が高い)	b(取り組んでいる)	c(取り組んでいない)	a
----------------------------------	-----------	--------------	------------	-------------	---

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

調査にあたっては、統一した様式の調査シートを作成。それをもとに調査・聞き取りして、エクセルで作成した空き店舗情報管理表(空き店舗マップ、一覧表)にまとめている。

2. 総合評価・理由	A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合	B(概ね順調)A、C以外の場合	C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	A
------------	---------------------------	-----------------	--------------------------------	---

会員減少という課題に対して、創業者支援の一環で町内の空き店舗情報を整備。創業相談者にタイムリーに情報提供できるような空き店舗情報が、計画に沿って着実に積み重なっている。また、創業者だけでなく事業拡大者に対しても対応。今年度は実際に、空き店舗仲介の実績もあった。

3. 課題

商店街を中心に町内全域まで調査範囲を拡大。商工会報でも会員に対して空き店舗情報を呼び掛けているが、まだまだ足りない状況である。また、空き店舗を調査しても、住居兼店舗で貸し出し不可などの回答が多く、貸し出し可能な物件が中々増えていかない状況である。

4. 今後の対応方針(改善点)

現在、実際に創業相談を受けて空き店舗情報の提供も行っているが、選択肢が少ない状況である。引き続き、計画に沿って町内の調査を進めて、情報を増やしていく。また、行政に対して二ツ井地域の店舗改修に対する補助金などの支援策を要望し、実際に利用可能な空き店舗が少しでも増えるよう環境を整備していく。

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年3月26日

平成30年度(2年目)

事業コード	3	事業名	チーム支援による課題解決提案の実施			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
商工会名	二ツ井町商工会	担当者名	榊 英孝	総轄者名	呼子 晃大	施策コード	2	施策名	巡回の質的向上による個社支援の実施		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員の経営課題が高度化しており、事業者の持続的発展にはチーム支援による質の高い課題解決提案を行うことが必要となっている。

2. 事業のねらい

攻めの巡回による事業者の経営課題の的確な把握と、相談への迅速な対応を基本に、質の高い個社支援を実施する。特に、高度かつ専門的な課題に対しては、多角的視点から課題解決につなげるため、専門家派遣制度の活用や県連北部支援センターとの連携を強化する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	A	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

金融問題を抱えている企業や新商品の販路開拓を考えている企業に対して、チーム支援により課題解決を図った。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

今後高度化、多様化する課題に対して真摯に対応し、状況によりチーム支援を活用し成果を出していく。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
県連や専門家と連携したチーム支援により、会員の高度な経営課題を解決していく。	金融問題を抱えている事業所に対してチーム支援を行った。内1事業は倒産になったが、個人事業再生支援を継続している。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	チーム支援の実施					項目						項目							
	年度	H29	H30	H31	H32		H33	年度	H29	H30	H31		H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32
目標	2	2				目標						目標							
実績	2	2				実績						実績							
達成率	100%	100%				達成率						達成率							
達成度	a	a				達成度						達成度							

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

少子高齢化に伴う人口減少により、地域を取り巻く経営環境は厳しさを増している。それに伴い、事業者の経営課題も多様化・高度化しており、持続的発展にはチーム支援による質の高い課題解決が是非とも必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

経営環境の厳しさにより高度な課題を抱えている事業所は少なからずあるが、そのうち大きな金融問題を抱えている事業所2社に対して専門家(弁護士)を活用したチーム支援により課題解決を図った。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

高度かつ専門的な課題を商工会や事業所のみで解決するのは困難である。チーム支援となる専門家派遣制度の活用は、無料で質の高い課題可決を図ることができる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

少子高齢化に伴う人口減少により経営環境は厳しさが増し、事業者の経営課題も多様化・高度化している。持続的発展には、必要性・有効性・効率化いずれの観点からも、県連や専門家などと連携したチーム支援による質の高い課題解決支援が適している。

3. 課題

問題が大きくなってからチーム支援を行うのではなく、問題が小さいうちからチーム支援を行い経営課題を確実に解決していく必要がある。また、厳しい経営環境下では、まだまだ潜在的に専門家などとのチーム支援による課題解決が必要な事業所は多いと思われる。

4. 今後の対応方針(改善点)

攻めの巡回をさらに強化して、事業者の経営課題の早期かつ的確な把握と、相談への迅速な対応支援を行っていく。

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年3月26日

平成30年度(2年目)

事業コード	6	事業名	職務遂行能力チェックシートの活用による能力向上			戦略コード	2	戦略名	プロ集団の商工会		
商工会名	二ツ井町商工会	担当者名	榊 英孝	総轄者名	呼子 晃大	施策コード	4	施策名	職員の支援スキル向上推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

事業所の抱える課題が高度・多様化しており、支援する側の能力向上が必要である。

2. 事業のねらい

職務遂行能力チェックシートを活用しながら能力向上を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

職務遂行能力チェックシート活用により目標を設定した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

職務遂行能力チェックシート活用により設定した目標を実現するため、研修会・講習会へ参加する。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
職務遂行能力チェックシート活用による能力向上と研修会等への参加	チェックシートを活用して得意・不得意分野を把握し、積極的に研修会へ参加させて職員の能力向上を図った。	b

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	各種研修会の参加					項目						項目					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標		8				目標						目標					
実績		8				実績						実績					
達成率		100%				達成率						達成率					
達成度		a				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

事業所の抱える課題が高度・多様化しており、支援する側の能力向上が必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

全職員が複数回研修会に参加した。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

受講料の掛からない研修会に参加しながら資質向上を図った。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

税制セミナー、事業承継セミナー、IT補助金説明会、労働保険事務組合担当者研修会、労働保険加入勧奨推進委員研修会、ものづくり補助金成果事例報告会、新任職員研修会・記帳支援業務研修会など、幅広い分野の研修会に積極的に参加して資質向上を図った。

3. 課題

幅広い分野、かつ高度な分野の研修会参加による資質向上。

4. 今後の対応方針(改善点)

今後も積極的に研修会に参加させてさらに職員の資質向上を図り、事業者が抱える高度かつ幅広い分野の課題を解決していく。

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年3月26日

平成30年度(2年目)

事業コード	9	事業名	商工会ホームページの改善			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
商工会名	二ツ井町商工会	担当者名	榊 英孝	総轄者名	呼子 晃大	施策コード	7	施策名	ICT活用による情報発信力の向上		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

以前のホームページが古くなり、事業者への支援メニューが伝わりにくくなっていた。

2. 事業のねらい

各種経営支援情報や商工会事業情報に加え、事業者が商工会を活用して課題解決を果たした事例も掲載し、必要な情報をタイムリーに取得できるよう改善する。また、事業者への支援メニューも分かりやすく掲載し、商工会の活用事例と併せて準会相談の補完ツールとしても活用する。

3. これまでの評価結果	過年度	H29	A	H30		H31		H32
--------------	-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

ホームページをリニューアルして支援メニューが分かりやすくなり、必要な情報はタイムリーに取得できるよう改善された。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

商工会支援メニューなどの積極的な情報発信を行う。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
商工会支援メニューなどの積極的な情報発信を行う。	ホームページをリニューアルし支援メニューなどを伝えやすくなったものの、まだ操作が不慣れなこともあり更新回数は少なかった。また、まだ多くの相談活用には至らなかったが、HPを見た県外の方からの創業相談につながった。	b

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	ホームページでの情報発信					項目						項目					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標		30				目標						目標					
実績		3				実績						実績					
達成率		10%				達成率						達成率					
達成度		c				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性	現状の課題に	a(対応している)	b(一部対応している)	c(対応していない)	a
------------------------	--------	-----------	-------------	------------	---

〈評価の理由〉

事業所の抱える課題は多様化・高度化しており、必要な情報をタイムリーに取得できるようにする必要がある。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況	事業内容・評価指標の実績の達成度が	a(すべてa判定の場合)	b(a,c以外の場合)	c(いずれかがc判定の場合)	c
--------------------	-------------------	--------------	-------------	----------------	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

ホームページをリニューアルし支援メニューなどは伝えやすくなったものの、まだ操作が不慣れなこともあり、更新回数は少なかった。また、リニューアルしたばかりで、多くの相談活用までには至らなかった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況	コスト縮減の取組は	a(客観的で効果が高い)	b(取り組んでいる)	c(取り組んでいない)	a
----------------------------------	-----------	--------------	------------	-------------	---

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

効果的なホームページにすることで支援施策など必要な情報を、コストを掛けずにタイムリーに発信することができるようになった。

2. 総合評価・理由	A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合	B(概ね順調)A、C以外の場合	C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	B
------------	---------------------------	-----------------	--------------------------------	---

ホームページをリニューアルしたことで支援メニューなどが分かりやすくなり、必要な情報をタイムリーに伝えることができるようになった。更新回数や相談活用件数は目標に達しなかったものの、早速HPを見た県外の方からの創業相談につながった。

3. 課題

リニューアル直後で操作が不慣れなこともあり更新回数が少なく、それに伴って相談活用件数も少なかった。

4. 今後の対応方針(改善点)

職員全員で役割分担し、それぞれ積極的に情報発信していく。また、事業者が商工会を活用して課題解決を果たした事例も徐々に掲載していく。